

第650号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2023年5月16日
 発行責任者 喬木村公民館長 林 司
 編集責任者 公民館編集部 池田 英明
 印刷 龍共印刷株式会社

春祭りの実施状況

各地区の様子について
 区長さんにお聞きしました。
 ご協力いただきありがとうございます。
 ございました。

- ① 実施の有無・日程
- ② コロナ禍3年間の実施状況
- ③ 実施に対しての住民の皆さんの様子

春季祭典 各地区で賑わい戻る

阿島まつりを皮切りに4年ぶりに
 開催された各地区の様子を紹介します

小川	①【韓郷社】4月8・9日 通常開催 【諸原社】4月15・16日 神事のみ実施 【机山神社】4月29日 神事・お囃子披露のみ実施 ②神事のみ実施 ③3年ぶりに韓郷社の獅子舞が復活した事で、賑やかになったのではないかと感じます。皆さんの笑顔が印象的でした。来年からも神事だけでなく、獅子舞保存会とも協力して地域を盛り上げていければと思っています。
伊久間	①4月8・9日 神事、獅子舞(区内巡回・奉納)、餅投げを実施 ②R4のみ獅子舞・屋台を短縮行程で実施。(その他年度は神事のみ) ③獅子舞が区内全域を巡回したのは4年ぶり、区民からも好評でした。その反面、屋台演奏ができなかったのは残念でした。
富田	①4月9日 神事のみ実施 ②神事のみ実施 ③コロナ対策のため仕方がない。しかし、伝統的な行事が低迷し、後継が育たなくなる心配があります。
大和知	①4月15日 宵祭り、4月16日 本祭り・神事・餅投げを実施 ②神事のみ実施 ③徐々に餅投げを実施したが、参加者の顔ぶれにも変化がありました。餅投げには、小学生から高齢者まで多くの方が参加され、久しぶりの祭りを体感していました。
氏乗	①4月23日 神事、懇親会、餅投げを実施 ②神事のみ実施 ③みんなで話し合いや餅投げができて良かったです。
大島	①4月16日 神事、懇親会を実施 ②神事のみ実施 ③懇親会を行ったことで、地域内のコミュニケーションを取ることができました。
加々須	①4月9日 神事、懇親会を実施 ②R4のみ神事と獅子舞を実施(その他年度は神事のみ) ③今年はコロナも終息方向にあり、ほぼ従来通りできました。地区に入ってくれた地域おこし協力隊の方や、地区に関係する県外の方も見に来てくださり、今までより賑やかな祭りとなりました。

奏。練習を重ねたお囃子を披露しました。親子三代で参加する姿も見られました。



机山神社お囃子の様子



氏乗地区宇治三柱神社春季祭典舞台での懇親会

マスクを外しての交流は4年ぶり。「地域の人たちと話が出来て良かった」との声が上がりました。

退任と新任のご挨拶

前館長 菅沼利光



この三月末で、五年間務めさせていただいた椋鳩十記念館・記念図書館長を退任いたしました。私は、椋鳩十記念館・記念図書館が、椋先生の教えを学び、未来につなぐ椋

しかし、このことが、いかほどの成果を上げかについては、はなはだ心もとないのも、現実です。心に残った仕事は、喬木

文学の情報センターであると共に、皆様に愛され、活用される生涯学習の拠点となったらしいなあと、職員の皆様と話し合い、思いを伝え、取り組んでまいりました。端的に言えば、「みんなに愛される椋鳩十記念館・記念図書館」でありたいと願って仕事をさせていただきました。

「椋文学ふれあい歩き」です。これは、本当に幸せな仕事でした。ありがとうございます。椋鳩十記念館・記念図書館長の職は退任しますが、私の「椋鳩十愛」は変わりません。これからも椋鳩十先生、椋文学を学んでいく所存です。皆様には、今ままで変わらず、椋先生について、お教えいただきますようお願い申し上げます。五年間、本当にお世話になりました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

新館長 木下潤児



四月より椋鳩十記念館・記念図書館の館長を仰せつかりました木下潤児と申します。私は、少年時代の一時期を喬木村で過ごしました。当時、暮らしていたのは、藤ノ木橋近くの住宅でした。一番の遊び場は加々須川。アカウオやガゴタ、アメノウオなどの魚を捕まえることに夢中でした。また、安養寺の境内でもよく遊びました。春のお祭りに沢山の屋台が出て、賑やかだったことを思い出します。ちょうどこの頃、父に読

村役場総務課情報統計係の皆さんと一緒に作成した、イチゴチャンネルの番組「椋文学ふれあい歩き」です。これは、本当に幸せな仕事でした。ありがとうございます。椋鳩十記念館・記念図書館長の職は退任しますが、私の「椋鳩十愛」は変わりません。これからも椋鳩十先生、椋文学を学んでいく所存です。皆様には、今ままで変わらず、椋先生について、お教えいただきますようお願い申し上げます。五年間、本当にお世話になりました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

あの時

「子育て世代移住増 高齢化率七割→二割」の記事が目に入った。五月一日の信濃毎日新聞の一面。泰阜村の梨久保地区。私の故郷近くの集落。子供の頃、秋になると家族でキノコをよく採りに行った地区でもあった。過疎化で五十年前九十二人が住んでいたが、二〇一八年には十四人まで減った。そこに、子育て世代の四世帯が移住し、現在二十五人。子供が〇から十人増えたという。なぜ不便であろう山間に移住したのか? 都会で育った彼らの価値観は、「不便」とは「自分の手でやる事ができる」「つまり、自分でできる事が増える」ということ。「何か壊れても自分で直したり、どこでも生きていけるようになった」ということなのだ。もちろん、大自 然に十分囲まれていて、静かな土地も魅力という。自分でできる事が増えることを日々の生活の楽しみとしていた彼らの生活。何もかもが、操作用とついで出来てしまう楽な生活からの脱却だ。これから、健康で幸せに生きていくには、何を大切にしていけばいいのか。生き方、幸せ感には多様性があつてよいことを改めて感じさせられた記事でもあつた。今後、生きて二十年。その間、どのような生き方をしたいのか、しがらみを取り払い生活したいが、果たしてどうなるか。(館長)

よろしく お願いします! 新任校長・総園長紹介



喬木第一小学校校長
市瀬 一宏

今年度より第一小学校でお世話になっている市瀬一宏と申します。私は個人的に喬木村をとて身近に感じています。出身が隣の豊丘村であること、学校生活の一番最初に出会った喬木村出身の担任のおかげで、誰よりも早く学校に登校し、放課後は下校時刻ぎりぎりまで校庭で遊んでいるような学校大好きな子どもに育てていただいたと思っております。この度、喬木村の小学校に勤めることができ、ことに少なからずのご縁を感じているところであります。



喬木第二小学校校長
平林 明彦

今年度よりお世話になります。平林明彦と申します。これまで松本での勤務が多く、下伊那での勤務は初めてになります。各市町村の位置関係や地名がわからないため、先日は学校から二十分ほど到着するはずの教育会館になかなか着かないという有り様ですが、早くこの下伊那の地に慣れ、喬木村の皆様の力になれるよう努力して参りたいと思っております。

さて、一学期の始業式では、子どもたちに三つのお願いをしました。一つ目は、最初から諦めず、とにかくいろいろなことに挑戦してみようということです。二つ目は、家族や地域の人々、先生、そして学校の仲間を大切に、周りの人々の言葉に耳を傾けようということです。三つ目は、自分の中にあるよさに気づき、それをどんどん伸ばしていこうということです。



保育園総園長
森山 優子

喬木中央保育園、喬木北保育園が統合され、令和五年度より「たかぎ保育園」として開園いたします。

また喬木村にあるもう一つの園、喬木南保育園は小規模園ではありますが、信州やまほいくの認定を受けており、自然の中で情緒豊かな心や、異年齢での関わりの中でお互いを思い合ったり憧れたりする気持ちが生活する中で育ってまいります。そんな両園の特徴を生かしながら交流も行い、子ども達が主体となつてのびのびと生活できるように、保育を行なっていきたく思います。どうぞよろしくお願いたします。

大切にし、周りの人々の言葉に耳を傾けようということです。三つ目は、自分の中にあるよさに気づき、それをどんどん伸ばしていこうということです。

現在、園児数は一七一名と人数ではありませんが、今までと同様に子ども達のやってみよう、やってみようという意欲や、相手思いやる優しい心など、これからの生きていく力のもととなる物が育つ大事な時期を、家庭や地域の方々と一緒に育てていけたらと思っています。

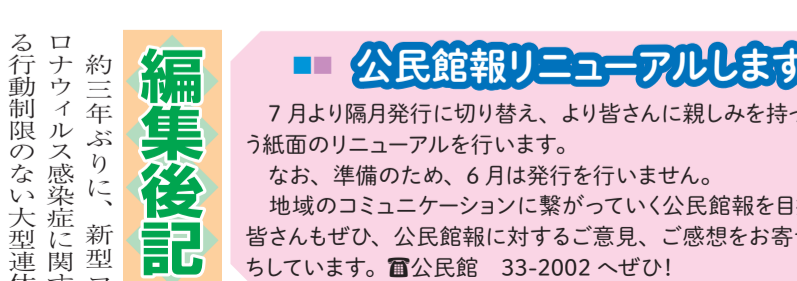
たかぎ短歌会 卯月歌会詠草

梅の花春風受けて花びらがかん差しのごと娘の黒髪へ
小椋 りよ
別れの季節WBC盛り上がり侍ジャパンが世界一となる
内山 貴子
病など負けぬと夫は強がりて今日は馬鈴薯時く支度始める
木下 寿子
親思う我が子も思う過ぎ越しを戻らぬ時間と胸痛むなり
知久 美子
ジャンパーは友の夫君の形見なり寒中に入り夫は温もる
田中 妙子

三月は母の祥月炊事場で「波浮の港」歌いしを想う
和田 京子
裸木の梢のむこうの星たちにウクライナの子らの幸を祈る
元島 康子
似顔絵や絵手紙くれるし孫たちはこの春揃ひて進学
叶心
呼べばすぐ応えてくるる息子のありて不自由なれど
内山 和子
穏やかな日々
木林 睦枝
元日に俄かな訃報に驚きぬ悲嘆の余り涙も枯れる
塩澤 静男
この春に末子の孫は巣立ちたり夢にむかいてはばたいてゆけ
市瀬 准子
書肆に来て老老の先迷ひたり五年日記かはたまた三年
福澤 亀人

この春に末子の孫は巣立ちたり夢にむかいてはばたいてゆけ
市瀬 准子
書肆に来て老老の先迷ひたり五年日記かはたまた三年
福澤 亀人

小・中学校 新任職員紹介



三月二十四〜二十六日にオンラインで開催されたマイプロジェクトアワード二〇二二全国サミットに、喬木村小川在住の小池杏奈さん、凜奈さん姉妹が長野県代表として出場しました。マイプロジェクトアワードは高校性の「プロジェクト」を発表する大会です。今回お二人は、高校を選択する際に、多くの人が偏差値のみで決めている事に疑問も持ち、そこから偏差値だけじゃない学校の「魅力」を伝えたいと活動してきたことを、「学校を売ろう！」

と題し発表を行いました。最優秀賞である文部科学賞には、惜しくも届きませんでした。全国の大舞台でファイナリストの六組に残り、「ロールモデル賞」を受賞しました。飯田女子高校が「好き」だから、頑張ってきた活動。多くの挫折もあつたそうです。が、それを乗り越えて活動をしていくお二人はとても輝いて見えました。

大会は終わりましたが、今後も進路選択に「好き」を取り入れてもらえるよう活動が続けられるようす。お二人のご活躍を楽しみにしています。

四月初旬より、村内各地で春季祭典も開催され、地域に活気とまとまりが戻りつつあることも肌で感じている。人口の減少で、コミュニティでの活動の限界が叫ばれる中、何とか地域を盛り上げようと試行錯誤しながら、未来へと繋いでくれている方々も大勢いる。村民一人一人が主人公であり、皆が一つにまとまった時のエネルギーは計り知れない。古き良き伝統も守りながら、新しい生活様式と共に、新時代へ一歩踏み出そう。

第一小学校
高橋敏行 (少人数編成)
伊藤遥子 (音楽専科)
北原年雄 (事務)
市岡弘子 (支援員)
荒井美咲 (学習習慣形成)
木下智子 (LD通級サテライト)

都富浩貴 (5年1組) 唐沢真奈 (5年2組) 市瀬一宏 (校長) 猪切洋二 (教頭) 鈴木孝一 (4年2組) 西脇英樹 (3年1組)

中学校
宮澤 修 (1年・理科) 増澤 幸治 (1年・数学) 廣瀬有紗子 (1年・国語) 城田 潤 (支援員) 羽生涼子 (3年・美術) 安藤俊輝 (2年・社会) 西村 翼 (2年・国語)

第二小学校
村松慎也 (専科教員) 矢澤善夫 (研修コーディネーター) 代田 肇 (1年担任) 花村 至 (5年担任) 平林明彦 (校長) 千野祐奈 (3年担任) 根本智美 (養護教諭) 今井治美 (事務)

編集後記

約三年ぶりに、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限のない大型連休となるゴールデンウィークを迎えた。当地域にも、多くの旅行者が訪れ、自然豊かな景観を眺め、旬の農産物を買って求める姿が見られた。

公民館報リニューアルします!!

7月より隔月発行に切り替え、より皆さんに親しみを持っていただけるよう紙面のリニューアルを行います。なお、準備のため、6月は発行を行いません。地域のコミュニケーションに繋がっていく公民館報を目指していきます。皆さんもぜひ、公民館報に対するご意見、ご感想をお寄せください!お待ちしております。公民館 33-2002 へぜひ!